

ワクワク発見！ ズーラシート

ズーラシアの工夫
～生息環境展示の巻～

<メモ>

中学校 年 組 番

名前



横浜市立よこはま動物園

みつけてみよう！ズーラシアのくふう。

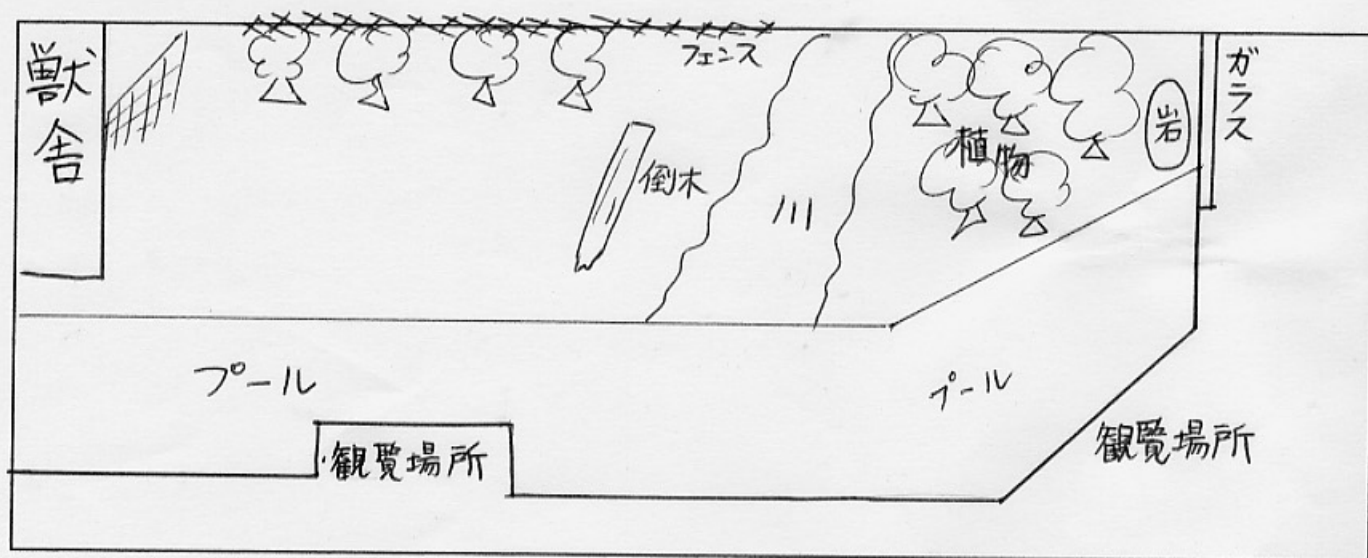
●スマトラトラの展示場をみてみよう！

ズーラシアでは「生息環境展示」といって、その動物が野生で生息している環境をできるだけ再現しています。今回は動物と動物をとりまく環境を観察してみましょう。

1. 展示場を見たときの第一印象、もしくは感想をかいてください。

()

2. トラは展示場のどこにいますか？トラがいるところに印を付けて、トラが行っている行動を書いてください。



トラは何をしていましたか？

()

3. スマトラトラはスマトラ島の森の中に生息しています。そのことを表すために、展示場にはどんなものがあるでしょう？

()

4. お客様がいる観覧場所にはオリがありません。では動物が逃げないように、どのような工夫がされているでしょう？

()

5. 展示場から、動物の獣舎やフェンスなど人工物があまりに目立つと、展示場の景観が損なわれてしまいます。そこで、獣舎やフェンスはどうやって目立たないようにしているのでしょうか？

()

6. 生息環境展示の良い点をそれぞれの視点から考えてみてください。

・生息環境展示によって、お客様に動物のどんなことを伝えることができるでしょう？

()

・展示場にある多くの植物やプールは、トラにとってどんなメリットがあるでしょう？

植物 ()

ヒント：トラには直射日光を避けられる場所が必要です。

プール ()

ヒント：トラは、夏場は特に水浴びをします。

生息環境展示とはちょっと違うけれど、おまけの問題です。

展示場には牛の大腿骨（太ももの骨）が置いてあることがあります。どこにあるか探してみてください。

この骨には最初からほとんど肉はついていません。では何のために骨がおいてあるのでしょうか？

教員用

今回は、ズーラシアでは動物のことを伝えるために、どのような工夫を行っているか知ってもらうため、その一つである生息環境展示についてとりあげてみました。ワークシートを用いて、展示場を違う視点からみることで、動物園の工夫について知ってもらうことができます。総合学習等にもご利用ください。

学習のポイント

- スマトラトラの展示場をじっくり観察してみよう。
- 動物について知ってもらうための工夫を探してみよう。

スマトラトラは、東南アジアのスマトラ島の熱帯雨林に生息しています。他の現存する5亜種のトラと比べて、体は小さく毛も密には生えていません。基本的に単独で生活しており、森の中で待ち伏せ型の狩りをします。水辺を好み獲物を追いかけて水に入ることもあります。

解説

- スマトラトラの展示場をみてみよう。

1．展示場を見たときの第一印象、もしくは感想をかいてください。

A：見た人の率直な感想を書いてください。

2．トラは展示場のどこにいて、行っていた行動を書いてください。

A：日中は横になって寝ているか、ウロウロと歩いていることが多いです。

3．スマトラトラはスマトラ島の森の中に生息しています。そのことを表すために、展示場にはどんなものがあるでしょう？

A：たくさんの植物が植えられています。トラの生息地でもある熱帯の森を思わせる展示場にするため、様々な木々や草を生い茂らせてあります。

4．お客様がいる観覧場所にはオリがありません。では動物が逃げないように、どのような工夫がされているでしょう？

A：観覧場所のすぐ下は大きなプールがあります。このプールは水モート（濠）といって、観覧場所に近い場所は3mもの深さになっており、トラが壁を飛び越えて逃げ出せないようになっています。これにより人の視界を遮るオリをなくして、安全に観察することができます。

5．展示場から、動物の獣舎やフェンスなど人工物があまりに目立つと、展示場の景観が損なわれてしまいます。そこで、獣舎やフェンスはどうやって目立たないようにしているのでしょうか？

A：獣舎は擬岩で覆い自然に溶け込ませるようにしています。本物の岩を重ねると崩れる危険性があったり、ちょうど良いサイズの岩がみつからないこともあるので、本物の岩から型をとった擬岩を用いています。

展示場の奥にあるフェンスは背の高い植物を並べることで、できるだけ隠すようにしています。

6．生息環境展示の良い点をそれぞれの視点から考えてみてください。

・生息環境展示によって、お客様に動物のどんなことを伝えることができるでしょう？

A：お客様は展示場を見ただけで、トラがどんなところに棲んでいるかを一目で知ることが出来ます。

トラが木陰に入ると、木々の木漏れ日とトラの縞模様が折り重なって自然の中に溶け込み、トラの姿が茂みの中で分かりづらくなります。このように、野生ではトラの派手な模様が目立たないことも、この展示場では実体験として感じることができます。

生息環境展示では、動物園のトラを観察することから野生のトラの生息地について考えやすいため、トラをとりまく環境や現状について考えるきっかけがもてます。

・展示場にある多くの植物やプールは、トラにとってどんなメリットがあるでしょう？

植物：多くの植物は、トラが展示場で休む際の木陰をつくります。景観を著しく壊すような屋根はつけられませんが、植物で覆われた天然の屋根は、直射日光を防いでくれます。また、トラが爪をといだり、マーキング（おしっこをかける）する時にも使われます。

プール：トラは水辺を好み、野生では水辺の近くにも生息しています。そこでズーラシアでも暑い日には水につかったり、水辺を歩いていることがあります。

* 牛の大腿骨（太ももの骨）はいったいどんな目的でおいているのでしょうか？

これは動物の退屈な時間を減らし、エサを食べる際に手間を増やして楽しむ時間を長くするための工夫（環境エンリッチメント）の一つです。トラは時間をかけて少ない肉を舐めたり、骨の中の髄を食べることができます。

< 発展学習 >

- トラの展示場にも見られた工夫を他の展示場でも探してみましょう。
- 他の動物で、生息環境展示が用いられている展示場を探してみましょう。

よりよい教育を実現させるツールのひとつとして、ズーラシートを通し、様々な動物園学習のつながりを提供していきたいと考えています。動物園をより有効に活用していただくために、単に動物のことを学ぶだけではなく、動物観察を通し、子供たちが様々な角度からものを考えることができるように工夫をしていきます。このズーラシートの活用事例、改善点など、どんなことでもお聞かせ下さい。私たちは先生方とともに教育を考え、そして子供たちと一緒に環境のことを考えていきたいと思っています。

● ご意見の宛先、お問い合わせ先

〒241-0001 横浜市旭区上白根町 1175-1

横浜市立よこはま動物園

電話 045-959-1000 Fax 045-951-0777